

県内経済の動き

概況

〔2023年4月～2023年6月の動き〕

緩やかな回復がみられ始めた県内経済

鉱工業生産指数（4月）は8カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（5月 細島港）は4カ月ぶりに前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（5月 全店ベース）は20カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は10カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（5月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（6月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（5月）は前月比▲0.01ポイントの1.44倍で、6月の企業倒産は前月比2件増の4件、負債額は同7億78百万円増の9億58百万円となった。

県内経済は個人消費や雇用・所得環境を中心に緩やかに改善している。賃金上昇の影響を注視しつつ、設備投資の増加や観光需要の高まりによる回復が期待される。